

**平成16年度
21世紀土地改良区創造運動
北海道大賞**

受賞地区の概要

“ 北海道の「水」「土」「里」を守り育む組織として役割を再認識し、
地域住民や道民に水土里ネットの役割等について理解を求め、
道民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織を目指して ”



平成16年8月26日

水土里ネット北海道
北海道土地改良事業団体連合会

はじめに

平成13年度にはじまった21世紀土地改良区創造運動（以下「21創造運動」）は今年度で4年目に入り、全道的な広がりが見られるようになりました。

平成14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含めた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、本年4月に、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、「21創造運動北海道大賞」を選考することといたしました

北海道には88の水土里ネットがある中、21創造運動への取り組みは多岐にわたっており、この度、21創造運動北海道大賞に選考された水土里ネットの運動も、地域の特性に応じた様々な取り組み内容がありました。

選考委員会での北海道大賞選考過程では、これらの多くの取り組みの中から、役職員等が一体となった取組体制のもと、多様な広報の推進、学校教育との連携、都市と農村との交流、先駆的な農業振興活動、地域住民等と連携した地域づくり等が選考ポイントとなりました。

21創造運動は、水土里ネットの機能・役割を再認識する（内部運動）とともに、地域住民や道民に水土里ネットの役割等について理解を求める（外部運動）、農地や農業用水等の地域資源の保全・管理等を通して農業・農村の多面的機能を支える組織を目指すものであり、これからも着実に継続して取り組んでいかなければならない運動であります。

本会といたしましては、この表彰を通じ、優良な運動事例を道内外に広く紹介するとともに、関係者の情報交換や道民・国民への広報の展開など、さらなる運動の推進が図られるよう支援をして参りたいと考えております。

水土里ネット北海道
北海道土地改良事業団体連合会
会長理事 小澤仁良

目 次

I.	21 創造運動北海道表彰について	1
II.	21 創造運動北海道大賞地区の概要		
	北海道大賞特別賞		
1.	水土里ネット旭鷹	上川管内 3
	北海道大賞		
2.	水土里ネットしのつ中央	石狩管内 4
3.	水土里ネットほっかい	空知管内 5
4.	水土里ネットとうま	上川管内 6
5.	水土里ネット北見	網走管内 7

I 21創造運動北海道表彰について

1. 21創造運動表彰の目的

誇るべき北海道の「水」「土」「里」を次の世代に健全な姿で継承するため、「水」「土」「里」を守り育む組織として役割を再認識し、地域住民や道民に水土里ネットの役割等について理解を求め、農地や農業用水等の地域資源の保全・管理等を通じて道民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織を目指して、道内各地で21創造運動が展開されております。

このような中で、模範となるような21創造運動を展開している水土里ネットを表彰し、全道・全国に紹介するとともに、この表彰を通じて、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげることにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資するものです。

2. 21創造運動表彰の選考経過等

(1) 選考対象

21創造運動に積極的に取り組んでおり、全道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与えうる運動を行っている水土里ネット。

(2) 選考方法

本会「21世紀土地改良区創造運動表彰選考委員会」の選考を経て北海道大賞地区が決定されます。

(3) 「21創造運動表彰選考委員会」委員の構成

委員長	梅田安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	山田晃睦	栗沢町長
委員長	澤徹明	北海道大学大学院農学研究科教授
//	森久美子	作家、エッセイスト
//	小田たず子	消費生活コンサルタント
//	野城正功	農政ジャーナリスト
//	小松勝雄	北海道開発局農業水産部 調整官
//	鶴江豊	北海道農政部 技監

(4) 選考基準

役職員等が一体となった取組体制のもとで、愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、学校教育との連携、先駆的な農業振興活動、多様な広報の推進等が積極的に行われており、その運動の意味性、継続性・発展性、連携性において優れた活動が行われていること。

1) 運動の取組体制

- ①役職員とともに、運動を積極的に推進する意志と姿勢を有しているか。
- ②組織が一丸となって運動に取り組んでいるか。
- ③組合員の運動に対する理解が浸透しつつあるか。

2) 運動の意味性

- ①明確な基本理念を持って取り組んでいるか。
- ②運動の理念が、地域住民等に明確に伝わるような取り組みを行っているか。
- ③持続可能な（地道で無理のない）運動であるか。

④歴史や先人等の想いが伝わる運動となっているか。

⑤農業振興を含めた本来業務に関し、先駆的な取り組みが展開されているか。

3) 運動の継続性・発展性

①単発的な活動に終わるのではなく、持続的な運動として展開されているか。

②運動内容が徐々に発展・拡大しているか。（「一步の踏み出し」）

③運動が計画性（運動目標、各種運動の位置づけ）を持って行なわれているか。

④運動の成果が着実に現れているか。（当該水土里ネットの基礎体力に応じた相当の結果が現れているか。）

4) 運動の連携性

①他の組織との多様かつ有機的な連携のもとに、外部にも開かれた運動が展開されているか。

②多様なツールを活用しつつ運動のPRを積極的に行っているか。

（5）選考経過

1) 第1回委員会

○期　　日　　平成16年5月27日（木）

○選考内容　・21創造運動北海道表彰の実施方針について審議。
　　・21創造運動北海道表彰の選考基準等について審議。
　　・道内全88水土里ネットの平成15年度までの運動の取組状況等について調査。

2) 第2回委員会

○期　　日　　平成16年6月28日（月）

○選考内容　・全88水土里ネットの運動の取組状況について、選考基準等をもとにA、B、Cランクの総合評価を行い、14水土里ネットが優れた活動を展開しているAランクとして評価。
　　・さらに、その14水土里ネットの活動内容等について精査し、特に、先駆的な農業振興活動等に取り組んでいる6水土里ネットを選考。

3) 第3回委員会

○期　　日　　平成16年7月6日（火）

○選考内容　・第2回委員会で選考した6水土里ネットの活動内容等について審議。
　　平成15年度に水土里ネット北海道が推薦して21創造運動大賞（全国水土里ネット会長表彰）を受賞した水土里ネット旭鷹を北海道大賞特別賞に、また、地域の特性を活かした特色ある運動であり、模範となる優れた運動を展開している4水土里ネット（しのつ中央、ほっかい、とうま、北見）を北海道大賞に選考。
　　・北海道大賞として選考した4水土里ネットのうち、水土里ネットほっかいを21創造運動大賞（全国水土里ネット会長表彰）候補としての推薦地区に選考。

（6）その他

21創造運動北海道大賞は、水土里ネットが行う「運動」を表彰します。一度受賞した水土里ネットにおいても、その後の「運動の発展性」「一步の踏み出し」が認められた場合、再受賞もあります。

II 21創造運動北海道大賞地区の概要

1. 水土里ネット旭鷹（旭鷹土地改良区）（特別賞）

（1）水土里ネットの概要

- ①役員数 役員14名、職員15名（専任）
- ②地区面積 6,596ha
- ③組合員数 999戸
- ④関係市町村 鷹栖町、旭川市
- ⑤設立経過等 平成8年に近文、共栄の両土地改良区が合併し、現在に至る

（2）21創造運動の概要と受賞ポイント

平成5年から、小学校の生活科学習の中で農業用水の重要性や水土里ネットの役割等を紹介する出前講座を開催しており、現在では総合学習の一つとして定着している。

また、当水土里ネットスタッフが、平成7年から取り組んだ「農地流動化支援水利用調整事業」を最大限に活用して、地区内のG I S（地理情報システム）を確立。現在では、行政や農業委員会、JAなどにも広く活用されており、リモートセンシング技術を取り入れた効率的な水管理や米のタンパクマップの作成など、ITを駆使した組合員への営農支援情報の提供なども行なっている。

地域の行事では水土里ネットの駐車場、会議室を開放するなど、地域に開かれた水土里ネットを目指すとともに、平成14年からは毎年、組織、地域ぐるみでJICA（国際協力事業団）の研修生を長期間受け入れるなど国際貢献へも寄与している。

そのほか、地域イベントでのパネル展の開催やパンフレット、ポスターの作成・配布、ホームページの開設など、積極的な広報活動にも取り組んでいる。

（3）活動事例



GISを活用し、様々な情報を提供



地域のイベントなどに事務所を開放

（4）住所等

- 住所 旭川市東鷹栖4条5丁目639-130
- 連絡先 TEL.0166-57-2919 FAX.0166-57-2918
- ホームページ <http://www.kyokuoh.or.jp>

2. 水土里ネットのつ中央（篠津中央土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①役員数 役員18名、職員22名（専任）
- ②地区面積 7,445ha
- ③組合員数 728戸
- ④関係市町村 新篠津村、当別町、江別市、月形町
- ⑤設立経過等 昭和32年に設立され、現在に至る

（2）21創造運動の概要と受賞ポイント

田植えや稻刈り、乗馬などの農業体験を通じて、農地や農業用水の重要性、水土里ネットの役割などを知ってもらおうと、平成12年から毎年2回、農業体験学習会を開催。札幌近郊の親子連れなど参加者も年々増え、都市住民との交流が定着している（平成15年は2回で700名が参加）。

また、泥炭地保全復元構想の検討や篠津泥炭地開発に関する資料館の整備を進めるなど、地域の歴史の伝承活動を展開している。

小学校の総合学習の協力では、農業水利施設や土地改良事業の工事現場などに児童を案内しているほか、小学校の教師を対象とした施設見学会も実施し、農業農村整備事業の役割等を紹介している。

そのほか、環境・景観保全活動として地域住民等と連携した植樹活動や、地域のイベントで農業用水パネル展を開くなど、地域資源の重要性などについて積極的にPRしている。

（3）活動事例



平成12年から毎年2回開催している篠津地域農業体験学習



小学校の総合学習に協力して、土地改良事業の工事現場に案内し、事業の役割・重要性などについて紹介

（4）住所等

- 住所 石狩郡当別町字金沢1363-21
- 連絡先 TEL.01332-3-2359 FAX.01332-3-2584
- ホームページ —

3. 水土里ネットほっかい（北海土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①役職員数 役員36名、職員93名（専任）
- ②地区面積 33,453ha
- ③組合員数 3,777戸
- ④関係市町村 赤平市、砂川市、奈井江町、美唄市、月形町、北村、岩見沢市、三笠市、栗沢町、南幌町、栗山町、江別市
- ⑤設立経過等 平成15年に北海、中村、三笠、岩見沢、南岩見沢、栗沢、東栗沢の7土地改良区が合併し、現在に至る

（2）21創造運動の概要と受賞ポイント

地域住民の積極的な参加を呼びかけ、用水路沿いにアジサイやハーブ等の植栽を行うなど環境・景観保全活動に取り組んでいる（平成13年度から実施し、15年度は5市町で6回開催して延べ440名が参加。年々参加者が増加している）。また、3地区で地域住民と連携したワークショップ活動を進め、地域資源を核とした地域づくり、自然環境・水質保全などに取り組んでいる。

先駆的な農業振興活動としては、田畠輪換や乾田直播など水田の高度利用に対応するための既設暗渠を利用した「地下かんがいシステム」の推進を図っているほか、水稻害虫の防除、雑草の軽減に効果のあるハーブの植栽活動を進めるなど、新技術の普及・促進に取り組んでいる。

そのほか、全道一の長さを誇る農業用水路「北海幹線」を北海道遺産に選定してもらうためのPR活動や、米づくりなど小学校の総合学習への全面的な支援、地域イベントへの積極的な参加による水土里ネットのPRなど、農村の地域資源の保全等に向けた多岐に渡る活動を展開している。

（3）活動事例



地域住民らの参加を得て、ハーブの植栽活動



ワークショップ活動で、地域の自然環境の保全などに取り組む

（4）住所等

- 住所 岩見沢市6条西7丁目1
- 連絡先 TEL.0126-22-2400 FAX.0126-22-8012
- ホームページ —

4. 水土里ネットとうま（当麻土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①役職員数 役員9名、職員5名（専任）
- ②地区面積 4, 686ha
- ③組合員数 677戸
- ④関係市町村 当麻町、旭川市、愛別町
- ⑤設立経過等 昭和44年に設立され、現在に至る

（2）21創造運動の概要と受賞ポイント

総合学習への協力では、水土里ネットが積極的に「田んぼの教室」の学習メニューを小学校に提案し、田植えから収穫までの米づくりに全面的に支援しているほか、農業水利施設見学会も実施している。また、町内の小学校や老人の生涯学習機関「いちい学園」から参加を募り、水土里ネット手作りの「ふるさとおもしろマップ」をたどって地域の開拓の歴史や豊かな自然環境など地域の良さを再発見する「ふるさと教室」を開いている。

先駆的な農業振興活動としては、良質米のレベルアップなど一層の地域農業振興・発展に向け、平成15年4月に町農林課、農業委員会、水土里ネット、JAなど6機関・団体で農業合同事務所を開設し、全国的に例のない取組として注目を集めている。農業関係機関が一体となった中で、水土里ネットも生産基盤を支える組織として地域農業振興活動に積極的に関わっている。

（3）活動事例



小学校の総合学習「米づくり」に全面的に支援

小学生などの参加を募って、地域の良さを再発見する「ふるさと教室」を開いている

（4）住所等

- 住所 上川郡当麻町4条東3丁目4-63
- 連絡先 TEL.0166-84-2231 FAX.0166-84-2232
- ホームページ —

5. 水土里ネット北見（北見土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- | | |
|--------|-----------------------------|
| ①役職員数 | 役員12名、職員13名（専任） |
| ②地区面積 | 6, 448ha |
| ③組合員数 | 1, 074戸 |
| ④関係市町村 | 北見市、端野町、訓子府町 |
| ⑤設立経過等 | 平成元年に北見、相内の両土地改良区が合併し、現在に至る |

（2）21創造運動の概要と受賞ポイント

農業用水等の多面的活用としては、地区内の畠地かんがい給水栓の位置図を消防団に提供し、防火用水として敏速に対応できる体制を整えているほか、頭首工管理橋を一般市民の歩行者通路として開放。また、住宅地を流れる用水路敷地の有効活用として、一般市民に家庭菜園として開放しているほか、地域住民と連携した植栽・植樹活動、地域住民等の意向を反映した遊歩道の整備を進めるなど、地域とともに歩む組織をアピールしている。

総合学習等への協力では、平成2年から地元工業高校の現地学習（ダム見学等）に協力しているほか、小学生の田植え体験や農業用水等に関する出前授業も行っている。また、水と土の保全に関するパンフレットを作成して北見市、端野町の全学校に配布し、農業水利施設や農業用水の役割等を紹介している。

また、地域の農業形態等が変化していく中で、農地・農業用水などの地域資源の適正な保全・管理等について、関係市町、農業関係団体等で協議会を設置し、情報交換を行っている。

（3）活動事例



平成2年から毎年、北見工業高校の現地学習に協力している（富里ダムを見学する生徒）



頭首工の管理橋を一般市民の歩行者通路として開放。
児童の通学路のものになっている

（4）住所等

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 住所 | 北見市桜町2丁目95 |
| 連絡先 | TEL.0157-23-7468 FAX.0157-23-7633 |
| ホームページ | — |